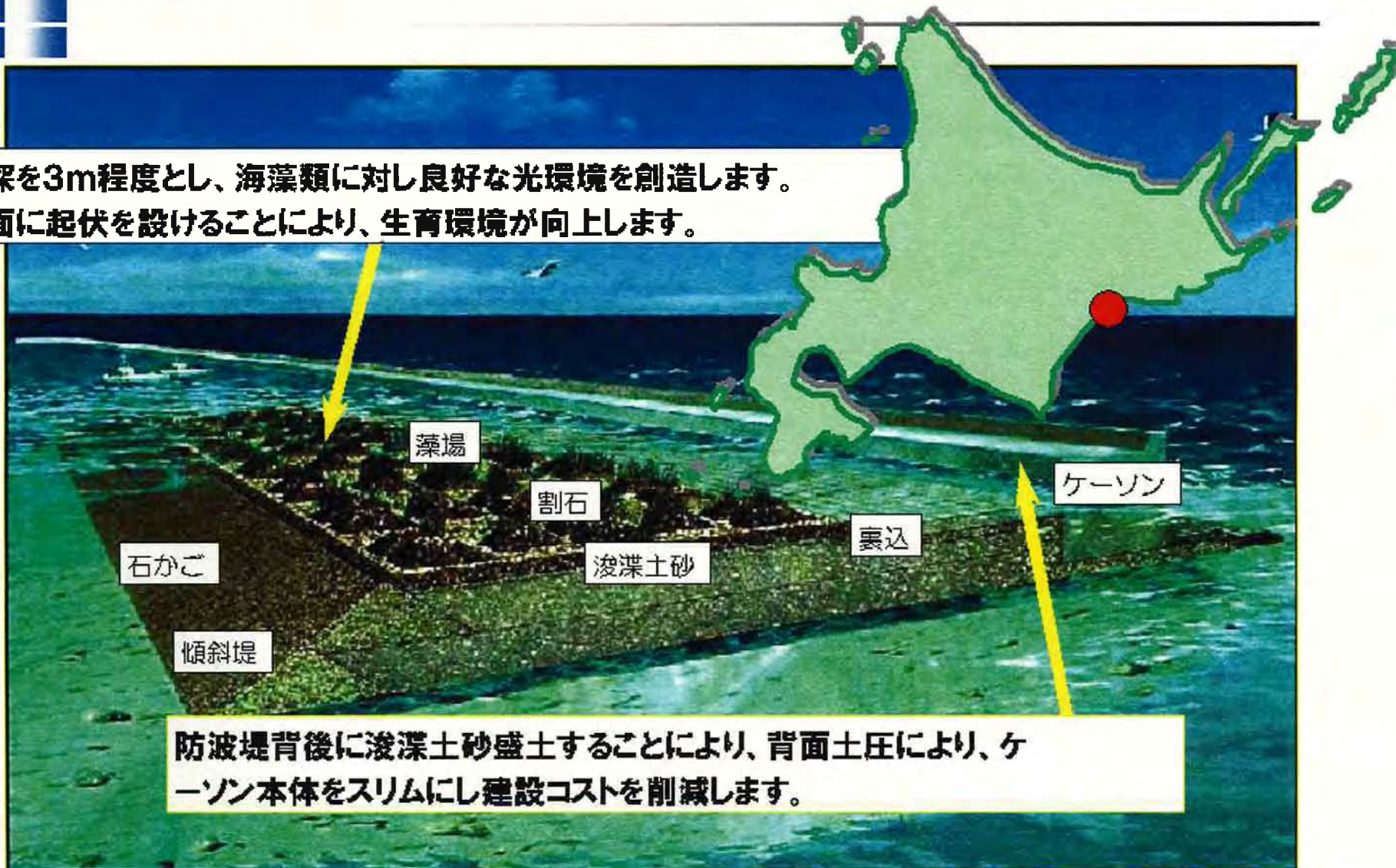


事例3 環境に配慮した防波堤(釧路港)

- 水深を3m程度とし、海藻類に対し良好な光環境を創造します。
- 表面に起伏を設けることにより、生育環境が向上します。



浚渫土砂を有効活用して藻場を造成



事例4 米国における干潟再生

アメリカ陸軍工兵隊ホームページ等より

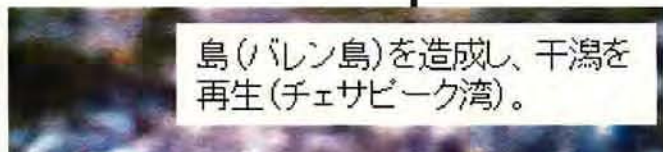
(注)アメリカ合衆国では、アメリカ陸軍工兵隊が連邦政府として、航路や港の維持などの水管理、環境保全、防災対応などに関わる公共事業を実施している。



【干潟等の再生事例箇所】



サンディエゴ港からエバレット港までいくつもの干潟(島)が整備



島(バレン島)を造成し、干潟を再生(チェサピーク湾)。

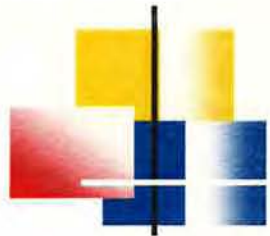


野生動物の生息地の提供(サンフランシスコ湾)



水質改善により魚が戻ってきたチェサピーク湾





「海辺の自然学校」の展開



港湾における水中観察会(高知県・奈半利港)



座学で体験したことを再確認 (静岡県・下田港)

「海辺の自然学校」の展開スキーム

～新たな地域興しのために～

国土交通省

- 自然学校運営ノウハウ及びプログラムの提供

連携

自然環境を活かした地域づくりを目指す自治体・NPOなど

- 地域の人材発掘とネットワーク化

- 企画立案
- 運営体制整備
- 広報・参加募集

「海辺の自然学校」開校

自治体等に運営ノウハウ等の蓄積

- 自治体等やNPOが主体的に実施できる体制が整備される



千鶴フェスタ(熊本港)



千鶴観察会(千葉港)



ヨット体験乗船
銚子マリーナ(名洗港)



マリーナには施設・器材・指導者が揃っている